

			処方を行っている医療機関数	調査		処方
がん	専門	S	悪性腫瘍手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)03 悪性腫瘍手術総計有無
がん	専門	S	食道がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)04 食道有無
がん	専門	S	肺がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)05 肺有無
がん	専門	S	胃がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)06 胃有無
がん	専門	S	肝臓がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)07 肝臓有無
がん	専門	S	胆嚢がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)08 胆嚢有無
がん	専門	S	膵臓がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)09 膵臓有無
がん	専門	S	大腸がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)10 大腸有無
がん	専門	S	腎がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)11 腎有無
がん	専門	S	前立腺がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)12 前立腺有無
がん	専門	S	乳がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)13 乳有無
がん	専門	S	子宮がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	病院票	(手術)14 子宮有無

がん	専門	S	悪性腫瘍手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)悪性腫瘍手術 有無
がん	専門	S	胃がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)胃がん有無
がん	専門	S	胆嚢がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)胆嚢がん有無
がん	専門	S	大腸がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)大腸がん有無
がん	専門	S	前立腺がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)前立腺がん有無
がん	専門	S	乳がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)乳がん有無
がん	専門	S	子宮がん手術を実施している医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(手術)子宮がん有無
がん	専門	P	悪性腫瘍手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)03 悪性腫瘍手術総計件数
がん	専門	P	食道がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)04 食道件数
がん	専門	P	肺がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)05 肺件数
がん	専門	P	胃がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)06 胃件数
がん	専門	P	肝臓がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)07 肝臓件数
がん	専門	P	胆嚢がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)08 胆嚢件数
がん	専門	P	膵臓がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)09 膵臓件数
がん	専門	P	大腸がん手術の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)10 大腸件数
がん	専門	P	腎がん手術の実	医療施設 調査	病院票	(手術)11 腎件数

			施件数	調査			
がん	専門	P	前立腺がん手術 の実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)12 前立腺件数	
がん	専門	P	乳がん手術の実 施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)13 乳件数	
がん	専門	P	子宮がん手術の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(手術)14 子宮件数	
がん	専門	P	悪性腫瘍手術 の実施件数	医療施設 調査	診療所票	(手術)悪性腫瘍手術 件数	
がん	専門	P	胃がん手術の実 施件数	医療施設 調査	診療所票	(手術)胃がん件数	
がん	専門	P	胆嚢がん手術の 実施件数	医療施設 調査	診療所票	(手術)胆嚢がん件数	
がん	専門	P	大腸がん手術の 実施件数	医療施設 調査	診療所票	(手術)大腸がん件数	
がん	専門	P	前立腺がん手術 の実施件数	医療施設 調査	診療所票	(手術)前立腺がん件数	
がん	専門	P	乳がん手術の実 施件数	医療施設 調査	診療所票	(手術)乳がん件数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	放射線治療の実施件 数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)01X線シミュレーター 患者数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)02CTシミュレーター 患者数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)03 放射線治療 計画装置患者数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)04 放射線治療 (体外照射)患者数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)05 リニアック患者数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)06 ガンマナイフ患者 数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)07 放射線治療 (組織内照射)患者数	
がん	専門	P	放射線治療の 実施件数	医療施設 調査	病院票	(放治)08RALS 患者数	
がん	専門	P	放射線治療の	医療施設	診療所票	(放治)患者数	

			実施件数	調査				
がん	専門	P	外来化学療法 の実施件数	医療施設 調査	病院票	(設備)10 外来化学療 法室利用者数		
脳卒 中	予防	P	高血圧疾患患 者の年齢調整 外来受療率	患者調査	外来奇数 票	傷病名	年齢	
脳卒 中	予防	P	高血圧疾患患 者の年齢調整 外来受療率	患者調査	診療所票	傷病名	年齢	入外 区分
脳卒 中	救護	S	脳卒中により救 急搬送された患 者数	患者調査	退院票	傷病名	救急	
脳卒 中	救護	S	脳卒中により救 急搬送された患 者数	患者調査	診療所退 院票	傷病名	救急	
脳卒 中	急性 期	S	救命救急センタ ーを有する医療 機関数	医療施設 調査	病院票	救急・医療体制		
脳卒 中	急性 期	S	救命救急センタ ー病床数	医療施設 調査	病院票	救命救急センター病床 数		
脳卒 中	急性 期	S	脳卒中の専門 病室を有する医 療機関数	医療施設 調査	病院票	(設備)02 脳卒中集中 治療室有無		
脳卒 中	急性 期	S	脳卒中の専門 病室病床数	医療施設 調査	病院票	(設備)02 脳卒中集中 治療室病床数		
脳卒 中	急性 期	O	退院患者平均 在院日数	患者調査	退院票	傷病名	在院 日数	
脳卒 中	急性 期	O	退院患者平均 在院日数	患者調査	診療所退 院票	傷病名	在院 日数	
脳卒 中	回復 期	O	在宅等生活の 場に復帰した患 者の割合	患者調査	退院票	傷病名	退院 先	
脳卒 中	回復 期	O	在宅等生活の 場に復帰した患 者の割合	患者調査	診療所退 院票	傷病名	退院 先	
脳卒 中	維持 期	S	在宅医療を提供 する医療機関数	医療施設 調査	病院票			
急性	予防	S	禁煙外来を行っ	医療施設	病院票	禁煙外来を行っている		

心筋 梗塞			ている医療機関 数	調査				
急性 心筋 梗塞	予防	P	高血圧疾患患 者の年齢調整 外来受療率	患者調査	外来奇数 票	傷病名	年齢	
急性 心筋 梗塞	予防	P	高血圧疾患患 者の年齢調整 外来受療率	患者調査	診療所票	傷病名	年齢	入外 区分
急性 心筋 梗塞	予防	P	脂質異常症患 者の年齢調整 外来受療率	患者調査	外来奇数 票	傷病名	年齢	
急性 心筋 梗塞	予防	P	脂質異常症患 者の年齢調整 外来受療率	患者調査	診療所票	傷病名	年齢	入外 区分
急性 心筋 梗塞	予防	P	糖尿病患者の 年齢調整外来 受療率	患者調査	外来奇数 票	傷病名	年齢	
急性 心筋 梗塞	予防	P	糖尿病患者の 年齢調整外来 受療率	患者調査	診療所票	傷病名	年齢	入外 区分
急性 心筋 梗塞	救護	S	心筋梗塞により 救急搬送された 患者数	患者調査	退院票	傷病名	救急	
急性 心筋 梗塞	救護	S	心筋梗塞により 救急搬送された 患者数	患者調査	診療所退 院票	傷病名	救急	
急性 心筋 梗塞	急性 期	S	救命救急センタ ーを有する医療 機関数	医療施設 調査	病院票	救急・医療体制		
急性 心筋 梗塞	急性 期	S	救命救急センタ ー病床数	医療施設 調査	病院票	救命救急センター病床 数		
急性 心筋 梗塞	急性 期	S	心筋梗塞の専 門病室を有する 医療機関数	医療施設 調査	病院票	(設備)03 心臓内科系 集中治療室有無		
急性 心筋 梗塞	急性 期	S	心筋梗塞の専 門病室病床数	医療施設 調査	病院票	(設備)03 心臓内科系 集中治療室病床数		

急性 心筋 梗塞	急性 期	O	退院患者平均 在院日数	患者調査	退院票	傷病名	在院 日数
急性 心筋 梗塞	急性 期	O	退院患者平均 在院日数	患者調査	診療所退 院票	傷病名	在院 日数
急性 心筋 梗塞	回復 期	O	在宅等生活の 場に復帰した患 者の割合	患者調査	退院票	傷病名	退院 先
急性 心筋 梗塞	回復 期	O	在宅等生活の 場に復帰した患 者の割合	患者調査	診療所退 院票	傷病名	退院 先
糖尿 病	初期・ 安定 期治 療	S	糖尿病内科(代 謝内科)を標榜 する医療機関数	医療施設 調査	病院票	標榜・糖尿病内科(代 謝内科)	
糖尿 病	初期・ 安定 期治 療	S	糖尿病内科(代 謝内科)を標榜 する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	標榜・糖尿病内科(代 謝内科)	
糖尿 病	初期・ 安定 期治 療	P	糖尿病患者の 年齢調整外来 受療率	患者調査	外来奇数 票	傷病名	年齢
糖尿 病	初期・ 安定 期治 療	P	糖尿病患者の 年齢調整外来 受療率	患者調査	診療所票	傷病名	年齢 入外 区分
糖尿 病	急性 期	O	退院患者平均 在院日数	患者調査	退院票	傷病名	在院 日数
糖尿 病	急性 期	O	退院患者平均 在院日数	患者調査	診療所退 院票	傷病名	在院 日数
救急 医療	救命 救急	S	特定集中治療 室のある医療機 関数	医療施設 調査	病院票	(設備)01 特定集中治 療室有無	
救急 医療	救命 救急	S	特定集中治療 室病床数	医療施設 調査	病院票	(設備)01 特定集中治 療室病床数	
救急	初期	S	初期救急医療	医療施設	病院票	救急・告示有無	

医療	救急		施設の数	調査		
医療	救急					
救急	初期	S	診療所のうち、	医療施設	診療所票	救急・告示
医療	救急		初期救急医療に	調査		
医療	救急		参画する機関の			
医療	救急		割合			
救急	初期	S	夜間内科救急に	医療施設	病院票	救急・(夜間)内科
医療	救急		対応する医療機	調査		
医療	救急		関数			
救急	初期	S	夜間小児科救	医療施設	病院票	救急・(夜間)小児科
医療	救急		急に対応する医	調査		
医療	救急		療機関数			
救急	初期	S	夜間外科救急に	医療施設	病院票	救急・(夜間)外科
医療	救急		対応する医療機	調査		
医療	救急		関数			
救急	初期	S	夜間脳神経外	医療施設	病院票	救急・(夜間)脳神経外
医療	救急		科救急に対応す	調査		科
医療	救急		る医療機関数			
救急	初期	S	夜間産科救急に	医療施設	病院票	救急・(夜間)産科
医療	救急		対応する医療機	調査		
医療	救急		関数			
救急	初期	S	夜間多発外傷	医療施設	病院票	救急・(夜間)多発外傷
医療	救急		救急に対応する	調査		
医療	救急		医療機関数			
救急	初期	S	精神科救急医	医療施設	病院票	救急・精神科医療体制
医療	救急		療に対応する医	調査		
医療	救急		療機関数			
救急	初期	S	夜間精神科救	医療施設	病院票	救急・夜間対応精神科
医療	救急		急に対応する医	調査		
医療	救急		療機関数			
救急	初期	S	在宅当番医制に	医療施設	診療所票	救急・在宅当番医制
医療	救急		対応する医療機	調査		
医療	救急		関数			
救急	初期	S	精神科救急医	医療施設	診療所票	救急・精神科
医療	救急		療に対応する医	調査		
医療	救急		療機関数			
救急	初期	S	夜間救急に対応	医療施設	診療所票	救急・夜間(深夜も含
医療	救急		する医療機関数	調査		む)対応可否

医療						
周産期	正常分娩	S	分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦人科医数	医療施設調査	病院票	診療科別医師数
周産期	正常分娩	S	産科を標榜する医療機関数	医療施設調査	病院票	標榜・産科
周産期	正常分娩	S	産婦人科を標榜する医療機関数	医療施設調査	病院票	標榜・産婦人科
周産期	正常分娩	S	産科を標榜する医療機関数	医療施設調査	診療所票	標榜・産科
周産期	正常分娩	S	産婦人科を標榜する医療機関数	医療施設調査	診療所票	標榜・産婦人科
周産期	正常分娩	S	助産師数	病院報告	従事者票	助産師・実人員
周産期	正常分娩	S	助産師数	病院報告	従事者票	助産師・常勤換算
周産期	正常分娩	S	助産師数	医療施設調査	診療所票	(職員数)助産師実人員
周産期	正常分娩	S	助産師数	医療施設調査	診療所票	(職員数)助産師常勤換算
周産期	正常分娩	S	分娩を取り扱う病院数	医療施設調査	病院票	(手術)16分娩有無
周産期	正常分娩	S	分娩を取り扱う病院数	医療施設調査	病院票	(手術)17帝王切開(再)有無
周産期	正常分娩	S	分娩を取り扱う診療所数	医療施設調査	診療所票	(手術)分娩有無
周産期	正常分娩	S	分娩を取り扱う診療所数	医療施設調査	診療所票	(手術)帝王切開娩出術有無
周産期	正常分娩	P	分娩数	医療施設調査	病院票	(手術)16分娩件数
周産期	正常分娩	P	分娩数	医療施設調査	病院票	(手術)17帝王切開(再)件数
周産期	正常分娩	P	分娩数	医療施設調査	診療所票	(手術)分娩件数
周産期	正常分娩	P	分娩数	医療施設調査	診療所票	(手術)帝王切開娩出術件数
周産期	地域	S	NICUを有する医	医療施設	病院票	(設備)04 新生児特定

期	周産 期医 療		療機関数	調査		集中治療室有無
周産 期	地域 周産 期医 療	S	NICU 病床数	医療施設 調査	病院票	(設備)04 新生児特定 集中治療室病床数
周産 期	地域 周産 期医 療	S	MFICU を有する 医療機関数	医療施設 調査	病院票	(設備)05 母体胎児集 中治療室有無
周産 期	地域 周産 期医 療	S	MFICU 病床数	医療施設 調査	病院票	(設備)05 母体胎児集 中治療室病床数
周産 期	地域 周産 期医 療	P	NICU 入室児数	医療施設 調査	病院票	(設備)04 新生児特定 集中治療室利用者数
周産 期	地域 周産 期医 療	P	MFICU 入室児 数	医療施設 調査	病院票	(設備)05 母体胎児集 中治療室利用者数
小児 医療	一般 小児 医療	S	小児科を標榜す る医療機関数	医療施設 調査	病院票	標榜・小児科
小児 医療	一般 小児 医療	S	小児科を標榜す る医療機関数	医療施設 調査	診療所票	標榜・小児科
小児 医療	一般 小児 医療	S	小児科医師数	医療施設 調査	病院票	診療科別医師数
小児 医療 センタ ー	地域 小児 医療 センタ ー	S	小児 ICU を有す る医療機関数	医療施設 調査	病院票	(設備)07 小児集中治 療室有無
小児	地域	S	小児 ICU 病床数	医療施設	病院票	(設備)07 小児集中治

小児 医療 センター —				調査		療室病床数
小児 地域 小児 医療 センター —	P	小児ICU入室児 数	医療施設 調査	病院票	(設備)07 小児集中治 療室利用者数	
在宅 支援	S	退院支援の担 当者を配置して いる医療機関数	医療施設 調査	病院票	退院調整支援有無	
在宅 支援	S	退院支援の担 当者を配置して いる医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(退院調整支援担当 者)有無	
在宅 支援	S	退院支援担当 者数	医療施設 調査	病院票	退院調整支援人数	
在宅 支援	S	退院支援担当 者数	医療施設 調査	診療所票	(退院調整支援担当 者)担当者数	
在宅 支援	S	医療保険による 在宅サービスを 実施する医療機 関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)医療保険による 実施	
在宅 支援	S	往診を実施する 医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)往診有無	
在宅 支援	S	在宅患者訪問 診療を実施する 医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)患者訪問有無	
在宅 支援	S	歯科訪問診療を 実施する医療機 関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)歯科訪問有無	
在宅 支援	S	救急搬送診療を 実施する医療機 関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)救急搬送有無	
在宅 支援	S	在宅患者訪問 看護・指導を実 施する医療機関 数	医療施設 調査	病院票	(在宅)医療訪問看護 有無	

在宅 支援	退院 S	精神科在宅患者訪問看護・指導を実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)精神科訪問看護有無
在宅 支援	退院 S	在宅訪問リハビリテーションを実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)訪問リハ有無
在宅 支援	退院 S	訪問看護ステーションへの指示書の交付を実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)訪問看護ステーション有無
在宅 支援	退院 S	在宅看取りを実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)看取り有無
在宅 支援	退院 S	介護保険による在宅医療を実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)介護保険による実施
在宅 支援	退院 S	居宅療養管理指導を実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)居宅療養有無
在宅 支援	退院 S	訪問看護を実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)介護訪問看護有無
在宅 支援	退院 S	訪問リハビリテーションを実施する医療機関数	医療施設 調査	病院票	(在宅)介護訪問リハ有無
在宅 支援	退院 S	医療保険による在宅サービスを実施する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)医療保険による実施
在宅 支援	退院 S	往診を実施する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)往診有無
在宅 支援	退院 S	在宅患者訪問診療を実施する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)患者訪問有無
在宅 支援	退院 S	歯科訪問診療を実施する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)歯科訪問有無

在宅 支援	退院 S	救急搬送診療を 実施する医療機 関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)救急搬送有無
在宅 支援	退院 S	在宅患者訪問 看護・指導を実 施する医療機関 数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)医療訪問看護・ 指導有無
在宅 支援	退院 S	精神科在宅患 者訪問看護・指 導を実施する医 療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)精神科訪問看 護・指導有無
在宅 支援	退院 S	在宅訪問リハビ リテーションを実 施する医療機関 数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)訪問リハ指導管 理有無
在宅 支援	退院 S	訪問看護ステー ションへの指示 書の交付を実施 する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)訪問看護ステー ション指示書有無
在宅 支援	退院 S	在宅看取りを実 施する医療機関 数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)看取り有無
在宅 支援	退院 S	介護保険による 在宅医療を実施 する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)介護保険による 実施
在宅 支援	退院 S	居宅療養管理 指導を実施する 医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)居宅療養有無
在宅 支援	退院 S	訪問看護を実施 する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)介護訪問看護 有無
在宅 支援	退院 S	訪問リハビリテ ーションを実施 する医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)介護訪問リハ有 無
在宅 支援	退院 S	在宅療養支援 診療所の届出 医療機関数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)療養支援診療 所届出
在宅 支援	退院 P	往診件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)往診件数

在宅 支援	退院 P	在宅患者訪問 診療件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)患者訪問件数
在宅 支援	退院 P	歯科訪問診療 件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)歯科訪問件数
在宅 支援	退院 P	救急搬送診療 件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)救急搬送件数
在宅 支援	退院 P	在宅患者訪問 看護・指導件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)医療訪問看護 件数
在宅 支援	退院 P	精神科在宅患 者訪問看護・指 導件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)精神科訪問看 護件数
在宅 支援	退院 P	在宅訪問リハビ リテーション件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)訪問リハ件数
在宅 支援	退院 P	訪問看護ステー ションへの指示 書の交付件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)訪問看護ステー ション件数
在宅 支援	退院 P	在宅看取り件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)在宅看取り件数
在宅 支援	退院 P	居宅療養管理 指導件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)居宅療養件数
在宅 支援	退院 P	訪問看護件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)介護訪問看護 件数
在宅 支援	退院 P	訪問リハビリテ ーション件数	医療施設 調査	病院票	(在宅)介護訪問リハ件 数
在宅 支援	退院 P	往診件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)往診件数
在宅 支援	退院 P	在宅患者訪問 診療件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)患者訪問件数
在宅 支援	退院 P	歯科訪問診療 件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)歯科訪問件数
在宅 支援	退院 P	救急搬送診療 件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)救急搬送件数
在宅 支援	退院 P	在宅患者訪問 看護・指導件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)医療訪問看護・ 指導件数
在宅 支援	退院 P	精神科在宅患 者訪問看護・指 導件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)精神科訪問看 護・指導件数
在宅 支援	退院 P	在宅訪問リハビ リテーション件数	医療施設 調査	診療所票	(在宅)訪問リハ指導管

	支援			リテーション件数	調査			理件数
在宅	退院	P	訪問看護ステーションへの指示書の交付件数	医療施設	診療所	診療所	診療所	(在宅)訪問看護ステーション指示書件数
在宅	退院	P	在宅看取り件数	医療施設	診療所	診療所	診療所	(在宅)在宅看取り件数
在宅	退院	P	居宅療養管理指導件数	医療施設	診療所	診療所	診療所	(在宅)居宅療養件数
在宅	退院	P	訪問看護件数	医療施設	診療所	診療所	診療所	(在宅)介護訪問看護件数
在宅	退院	P	訪問リハビリテーション件数	医療施設	診療所	診療所	診療所	(在宅)介護訪問リハ件数
在宅	退院	P	在宅療養患者数	医療施設	診療所	診療所	診療所	(在宅)受け持ち在宅療養患者数
在宅	退院	O	退院患者平均在院日数	患者調査	退院票			在院日数
在宅	退院	O	退院患者平均在院日数	患者調査	診療所退院票			在院日数

平成22－23年度 厚生労働科学研究費補助金
(地域医療基盤開発推進研究事業)
総合研究分担報告書

医療計画のための National Database の活用：
全国版データベース構築と指標の作成

研究分担者 藤森 研司 北海道大学病院 地域医療指導医支援センター
研究分担者 松田 晋哉 産業医科大学 公衆衛生学講座

はじめに

厚生労働省が全国の保険者から匿名化電子レセプトを収集する事業が平成21年度4月診療分から始まっている。これは「高齢者の医療の確保に関する法律」に根拠を持つものであるが、別名、National Database（以下NDB）とも呼ばれる。担当部署は保険局総務課保険システム高度化推進室である。

本来は医療費適正化等のために使用するデータであるが、平成23年度より研究者や都道府県にも利用申出が可能となった。本研究はNDBの利用申出を行い、NDBの活用に係る有識者会議での厳密な審査を経て提供を受けたデータを使用し、平成24年度から始まる各都道府県の次期医療計画策定に利用可能な指標値の一括作成を行った。同時に、都道府県ごとに個別に指標集を作成・配布し、説明会も開催する予定である。

方法

データは全国の平成22年10月診療分から平成23年3月診療分の医科電子レセプト、DPC電子レセプトを用いた。審査月では保留レセプトの存在も考慮し、平成23年6月までとした。抽出された行為や薬剤のレコードは指標に使用するものだけに限定されている。

NDBにおいては各保険者から厚生労働省に提出する段階ですすでに必要な匿名化が行われているが、今回の利用申出ではさらに医療機関番号、保険者番号の匿名化、年齢の階層化も行われたのちにデータは提供された。地域性の粒度は二次医療圏単位としたため、医療機関には二次医療圏コードと再匿名化された識別番号が付与された。また、国民健康保険、後期高齢者医療制度、生活保護等の市町村レベルで保険者あるいは負担者がコード化されているものは、同様に二次医療圏コードと再匿名化され識別番号が付与された。なお、医療機関番号と二次医療圏との対応表、保険者番号・負担者と二次医療圏の対応表は、申出者自らが用意する必要があった。二次医療圏は平成23年4月1日現在のものを用いた。

NDBでは申出時に認められた必要最小限の項目しか抽出されないルールなので、あらかじめ指標作成用に分析対象の医療行為と薬剤を定めて審査を受け、抽出用にマスタテーブルを作成してNDB運用側に提供した。

医療計画に使用する指標は医療行為を単一の行為ごとに提供するのではなく、適切なグループ化と、場合によっては傷病との組み合わせを行って「指標」として定義した。傷病名は全て ICD-10 に変換し、さらに H22DPC 調査の定義表によって DPC6 桁を付与した。指標名テーブルの抜粋と集計用マスタの一部を表 1, 2 に示す。

表 1 指標テーブルの抜粋

指標番号	大分類	中分類	指標名	入院	外来	病名と組み合わせ
A010	基本診療料	初・再診料	初診料		○	なし
A011	基本診療料	初・再診料	外来診療料		○	なし
A012	基本診療料	初・再診料	再診料		○	なし
A013	基本診療料	初・再診料	再診料・外来診察料		○	なし
A020	基本診療料	入院料基本	一般入院基本料	○		なし
A021	基本診療料	入院料基本	DPC 入院(再掲)	○		なし
A022	基本診療料	入院料基本	療養病棟入院基本料	○		なし
B020	がん	胃がん	胃悪性腫瘍患者	○	○	あり
B021	がん	胃がん	胃悪性腫瘍患者(主病名)	○	○	あり
B022	がん	胃がん	胃の悪性腫瘍に対する内視鏡的切除	○	○	あり
B024	がん	胃がん	胃の悪性腫瘍に対する胃全摘術等	○		一部
C020	生活習慣病	糖尿病	糖尿病患者	○	○	あり
C021	生活習慣病	糖尿病	糖尿病患者(主傷病)	○	○	あり
C026	生活習慣病	糖尿病(治療・管理)	生活習慣病管理料(糖尿病を主病)		○	なし
C027	生活習慣病	糖尿病(治療・管理)	血糖自己測定器加算		○	なし
C032	生活習慣病	糖尿病(透)	糖尿病に対する人工透析	○	○	あり
C033	生活習慣病	糖尿病(透)	糖尿病に対する人工透析の導入	○	○	あり
D020	心疾患	急性心筋梗	急性心筋梗塞発症患者	○	○	あり
D021	心疾患	急性心筋梗	急性心筋梗塞発症患者(主病名)	○	○	あり
D022	心疾患	急性心筋梗	急性心筋梗塞に対するカテーテル治	○		あり
D023	心疾患	急性心筋梗	急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	○		あり

指標は大分類、中分類、指標名と階層化され、五疾病五事業を軸に指標化を試みた。一部、高血圧症の様に、生活習慣病に分類すべきか、脳梗塞のリスクファクターとすべきか、分類に迷うものもあったが、暫定的に分類を行った。利用者は自由に組み替えて使用すると良いだろう。

医療行為は外来、入院の双方で行われるものが多いが、結果の見やすさのため、入院・外来の欄に○がある場合のみ当該のものに出力することとした。実際のレセプトでは、入院レセプトにも本来外来で行われるべき医療行為が出現する場合がある。たとえば、初診料はその代表であり、初診後に直ちに入院になった場合は入院レセプトに算定される。従って、結果の解釈は「初診料」はすべての初診料算定を意味するものではなく、外来レセプトで算定された「初診料」である。

次に、各指標の集計で使用した医療行為等のマスタの一部を示す(表 2)。

表2 集計用マスタ (抜粋)

集計パターン	指標番号	指標名	レセ電算コード	名称	IGD10	DPC分類	その他条件
1	A010	初診料	111000110	初診料			
1	A011	外来診療料	112011310	外来診療料			
1	A012	再診料	112007410	再診料			
1	A013	再診料・外来診察	112011310	外来診療料			
1	A013	再診料・外来診察	112007410	再診料			
1	A020	一般入院基本料	190077410	一般病棟10対1入院基本料			
1	A020	一般入院基本料	190077510	一般病棟13対1入院基本料			
1	A020	一般入院基本料	190077610	一般病棟15対1入院基本料			
1	A020	一般入院基本料	190117710	一般病棟7対1入院基本料			
		中略					
1	A020	一般入院基本料	190111810	(選)一般病棟10対1入院基本			
D	A021	DPC入院(再掲)					別処理
4	B020	胃悪性腫瘍患者				060020	
4b	B021	胃悪性腫瘍患者(主病名)				060020	主病名限定
3	B022	胃癌の内視鏡的手術	150164410	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(その他)		060020	
3	B022	胃癌の内視鏡的手術	150276310	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍ポリープ)		060020	
3	B022	胃癌の内視鏡的手術	150276410	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜)		060020	
3	B022	胃癌の内視鏡的手術	150323010	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)		060020	
3	B024	胃癌の全摘術等	150323210	胃局所切除術		060020	
1	B024	胃癌の全摘術等	150168010	胃切除術(悪性腫瘍手術)			
1	B024	胃癌の全摘術等	150168110	胃全摘術(悪性腫瘍手術)			
3	B024	胃癌の全摘術等	150323310	腹腔鏡下胃局所切除術		060020	
1	B024	胃癌の全摘術等	150323510	腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手			
1	B024	胃癌の全摘術等	150323710	腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手			
1	B024	胃癌の全摘術等	150337310	噴門側胃切除術(悪性腫瘍切除			
2	C20	糖尿病患者			E10%-E14%		
2b	C21	糖尿病患者(主傷			E10%-E14%		
6	C032	糖尿病の人工透	140007710	人工腎臓(その他)	E10%-E14%		
6	C032	糖尿病の人工透	140051010	人工腎臓(慢性維持透析)(4時間以上5時間未満)	E10%-E14%		
6	C032	糖尿病の人工透	140036710	人工腎臓(慢性維持透析)(4時	E10%-E14%		
6	C032	糖尿病の人工透	140051110	人工腎臓(慢性維持透析)(5時	E10%-E14%		
6	C032	糖尿病の人工透	140008810	腹膜灌流(その他)	E10%-E14%		
6	C032	糖尿病の人工透	140008510	連続携帯式腹膜灌流	E10%-E14%		
6	033	人工透析の導入	140008170	人工腎臓(導入期)加算	E10%-E14%		
6	033	人工透析の導入	140008770	腹膜灌流導入期加算	E10%-E14%		

以上が集計用のマスタの構造であるが、各指標にはどのような医療行為や傷病名が含まれているのか、その組み合わせはどうかなどを確認する際に参照する。指標においては医

療行為間、傷病名間はそれぞれ or 条件であり、いずれかがあると指標にカウントされる。複数あっても 1 カウントである。一方、医療行為と傷病名・DPC 分類の組み合わせは and 条件である。

DPC 入院では入院基本料が包括化されるために、レセプトには上がってこない。そのため、DPC 入院は匿名化された医療機関の入院基本料をデータから判別し、それに基づいて一般病棟入院料か特定機能病院入院料に計上した。特定入院料は DPC でも一部出来高で算定されるため、両者にカウントされている。正しいレセプト分析にはレセプトに何が書かれているかを理解している必要がある。

集計は 6 ヶ月診療分のレセプト総数、算定医療機関数、各都道府県の平均レセプト数、平均値以上の件数のある医療機関数を基本とした。レセプト数を 6 で除すと単月分となる。大きく三種類の集計を実行し出力ファイルを作成した。第一の分析は、各都道府県の二次医療圏ごとの医療提供状況であり、これは全保険者のデータを使用した。これには他県の保険者が受診したものも含む。純粋に医療提供側からみた数字である。第二の分析は第一の分析と同じ視点で、都道府県単位で集計し一覧にしたものである。この場合は、「各都道府県の平均レセプト数」、「平均値以上の件数のある医療機関数」の項はない。第三の分析は患者の受療動向である。患者の住所情報は電子レセプトには存在しないが、保険者から所在地がおよそ推定できる場合がある。これは国民健康保険、退職国民健康保険、後期高齢者医療制度、医療保険ではないが生活保護である。これらの患者の所在市町村と見立てて、二次医療圏間の受療動向を集計した。これはレセプト数の集計である。

年齢階級は初再診料や入院基本料関連の指標は、0-2 才、3-4 才、5-14 才、15-64 才、65-74 才、75 才以上の 6 区分、その他の指標は 0-14 才、15-64 才、65-74 才、75 才以上の 4 区分とした。

電子レセプトはその構造が正規化されていないために、直接データベース化することは難しい。分析にはいくつかの方法があるが、我々は電子レセプトを DPC 相当のデータ形式に変換するプログラム（独自開発）を NDB 用に改編し、正規化された変換後データを Microsoft SQLServer にインポートし、分析・集計をおこなった¹⁾。

データの集計方法は大きく 6 パターンあり、その簡単な考え方を表 3 に記す。それ以外にも例外的な特殊処理を行っている指標もあるが、それらの詳細は都道府県に配布する解説書の中で記述する。

表 3 データ分析のパターン

集計パターン	説明
1	レセプト電算コードによる単純な集計
2	傷病名の ICD10 コードによる集計(単純集計と主病名指定の 2 パターンあり)
3	レセプト電算コード+傷病名の DPC6 コード
4	傷病名の DPC6 コードによる集計(単純集計と主病名指定の 2 パターンあり)
5	薬剤の薬効分類による集計(化学療法)
6	レセプト電算コード+傷病名の ICD10 コード

傷病名については、厚生労働省の定める電子レセプト用の病名マスタを使用した。本マスタには大部分に ICD10 が付与されており、さらに ICD10 に対して平成 22 年度包括評価診断群分類定義表に基づき、DPC6 桁を付与した。電子レセプトを DPC 形式に変換する際に ICD10 コードを付与し、データベース化の後に DPC6 桁を付与した。

NDB では未コード化病名は提供時に削除されているが（全体の約 8%）、NDB 上は主傷病フラグの有無、疑い修飾語コードの有無、その順序により、機械的な判断を行った。たとえば B020「胃悪性腫瘍患者」の指標では、疑い病名を除き、主傷病フラグの有無にかかわらず、全ての傷病名を検索した結果である。すなわち、レセプト上の病名の位置に寄らず、主傷病フラグの有無に寄らず、疑い病名ではない胃がんに係る傷病コードが一つでもあればカウントした。1 レセプトに複数の類似病名があっても 1 とカウントした。

一方、B021「胃悪性腫瘍患者（主病名）」の指標は、主病名フラグのあるもの（複数の主傷病フラグのある場合は、より先頭の場合のみ）、主傷病フラグが一つもないレセプトの場合は傷病名レコードで疑い病名ではないもので先頭のを機械的に選択した。前者はより広く疾患の存在を捉え、後者はより限定的に捉える手法である。なお、DPC 電子レセプトでも未コード化病名は存在するが、ICD10 コードの付与が必須であるため、全レコードの情報を使うことが出来る。主病名は最も医療資源を投入した傷病名を採用した。

集計結果の公開には個人情報保護の観点から NDB の独自ルールがあり、レセプト数では 10 件未満、医療機関数では 3 か所未満の場合は匿名化しなければならないので、そのルールに準拠した。

結果

データベース化されたレセプト総数は医科レセプトが 463,769,492 件、DPC レセプトが 5,302,682 件。傷病名は医科レセプトが 2,335,155,344 レコード（未コード化病名を除くと 2,160,155,202 件）、DPC レセプトが 40,400,842 レコード、分析対象となる行為と薬剤は医科レセプトが 1,304,475,963 レコード、DPC レセプトが 70,454,842 レコード（CD レコードを含む）であった。SQL Server のデータベースファイルとしては、全体で 2TB（テラバイト）程度のファイルサイズである。

本研究では傷病名、医療行為、使用薬剤等の組み合わせで 210 の指標を定め、以下の集計を行った。

I 二次医療圏別医療提供状況

全保険者のデータを用い、医療機関の存在する二次医療圏単位で集計を行った。被保険者の地域性は考慮しないため、他の医療圏あるいは他の都道府県の患者も当該地区の医療機関を受診した場合はカウントされる。純粹のその地域でそれぞれの医療がどの程度提供できるかを見るための集計であり、流入、流出は区別されない。

各都道府県内の平均値は、二次医療圏ごとの平均値の平均ではなく、当該の都道府県の全レセプト数を全算定医療機関数で除したものである。小数点以下は切り捨てである。

結果の抜粋を北海道を事例に表 4 に示した。- のセルは必ずしもゼロを意味しなく、レ

セプト数では10未満、医療機関数では3未満であることに留意。各都道府県には説明会において個別に当該の都道府県分を配布予定である。

表4 北海道二次医療圏別医療提供状況（一部）

指標 番号	大分類	中分類	指標名	年齢区 分		二次医療	0101	0102	0103	0104
						道内合計	南渡島	南 檜 山	北渡島 檜山	札幌
A010	基本診 療	初・再診 料	初診料	全年齢	総レセプト数	4,049,522	333,473	10,310	14,236	1,900,478
					算定医療機関	2,801	252	10	12	1,296
					平均レセプト数	948	74	3	-	451
					道内平均レセブ	1,445	1,445	1,445	1,445	1,445
				0～1才	総レセプト数	189,408	10,502	245	1,141	99,526
					算定医療機関	1,695	140	8	9	742
					平均レセプト数	362	22	-	-	194
					道内平均レセブ	111	111	111	111	111
				15～64	総レセプト数	2,265,719	178,854	4,888	7,300	1,113,360
					算定医療機関	2,797	252	10	12	1,292
					平均レセプト数	962	74	-	-	471
					道内平均レセブ	810	810	810	810	810
				2～4才	総レセプト数	201,526	15,914	693	907	86,172
					算定医療機関	1,936	173	9	12	818
					平均レセプト数	438	33	-	-	196
					道内平均レセブ	104	104	104	104	104
				5～14才	総レセプト数	616,495	56,464	2,709	2,712	266,227
					算定医療機関	2,532	241	10	11	1,130
					平均レセプト数	621	53	4	-	280
					道内平均レセブ	243	243	243	243	243
				65～74	総レセプト数	400,195	35,799	879	1,103	174,689
					算定医療機関	2,712	245	10	11	1,239
					平均レセプト数	839	70	-	-	366
					道内平均レセブ	147	147	147	147	147
				75才以	総レセプト数	376,179	35,940	896	1,073	160,504
					算定医療機関	2,676	243	10	11	1,218
					平均レセプト数	785	72	-	-	336
					道内平均レセブ	140	140	140	140	140
A011	基本診	初・再診	外来診	全年齢	総レセプト数	2,749,509	193,693	-	25,918	1,031,762
					算定医療機関	78	6	-	-	32
					平均レセプト数	35	3	-	-	10
					道内平均レセブ	35,250	35,250	-	35,250	35,250

この表は、縦が指標数 x 年齢区分、横が二次医療圏数と県内合計の大きな表である。複雑になりすぎないように、入院と外来とそれぞれ作成した。なお、県内合計数はそれぞれの二次医療圏の合計ではなく、別に計算した。匿名化による数え落としを避けるためである。都道府県担当者の利便性を図るためにクロス表の作成の元となった縦持ちデータも CD-R に収める予定である。

II 都道府県別医療提供状況